


 ふるかわこうかきょう
古川高架橋 (その1)

古川高架橋は、第二名神高速道路 川越 IC～朝日 IC 間に位置し、近鉄跨線橋 (10 径間) 古川高架橋 (13 + 9 径間) および朝明^{あさひ}高架橋 (9 径間) の上下線 8 橋 (延長 2,950m) からなる多径間連続 PC 箱桁橋です。

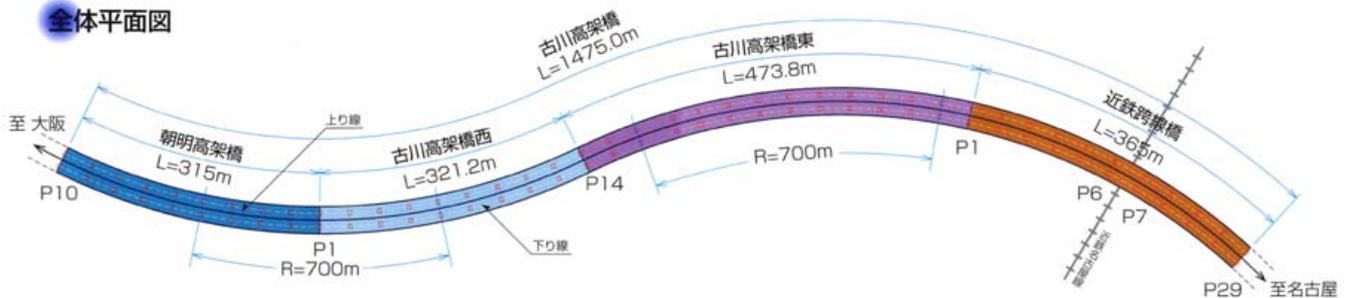
本橋は、現地に製作ヤードを確保できないが、現地近郊にセグメント製作が可能で PC 工場を有していること、施工規模が比較的大きいことなどの条件から、我国で初めての本格的な工場製プレキャストセグメントを採用した橋梁です。

工場製プレキャストセグメントは一般公道を運搬するため、セグメント重量に制限 (30t 以下) を受けることから、断面の軽量化とセグメント数の低減を目的として、新たにリブ付き U 型コア断面を提案しました。

リブ付き U 型コア断面の採用にあたっては、設計面からの詳細なアプローチはもとより、実物大実験を実施し、品質および製作、架設に対する安全性の確認を行っています。


一般図

全体平面図


橋梁諸元

工事名：第二名神高速道路 古川高架橋 (PC 上部工) 工事

発注者：日本道路公団名古屋建設局

位置：三重県三重郡朝日町～川越町

道路規格：第 1 種 2 級

形式：PC 9～13 径間連続箱桁橋

荷重：B 活荷重

橋長：1,475m (82 径間、スパン長：34.03～45.50m)

有効幅員：14.0～15.724m

PC 鋼材：主桁縦締め鋼材 SWPR 7B 19S15.2 (アンダーソン工法)

リブ補強鋼材 SWPR19 1S28.6 (SM 工法)

床版横締め鋼材 SWPR19 1S21.8 (SM 工法)

